

## 第32回鹿児島市景観審議会 会議録

開催日時	令和5年5月23日（火） 10時00分～12時15分
開催場所	市役所西別館2階 205会議室
出席者	委員6人、事務局8人
（委員）	井上委員（会長）、木方委員、馬場委員、川島委員、徳島委員、江良委員
（事務局）	都市計画部長、都市景観課長、市街地まちづくり推進課長 他5名
会議の概要	
1 開会	過半数である7人中6人の委員の出席により、鹿児島市景観審議会規則第3条第2項に基づき、審議会は成立
2 会長及び副会長の選出	鹿児島市景観条例第19条第7項の規定に基づき、会長に井上委員を副会長に木方委員を委員の互選により選任
3 議事	<p>会長が会議録の署名をする委員として、馬場委員と徳島委員を指名 傍聴希望者 8名（NHK鹿児島3名、KKB3名、南日本新聞社1名、鹿児島建設新聞1名）の傍聴を許可</p> <p>議事 議案「天文館通電停前アーケードについて」</p> <p>■結果 天文館通電停前アーケードに係る5つの企画提案書のデザイン案に対して、多様な視点から種々意見が述べられた。</p> <p>■主な意見等の要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンセプトにあるように、鹿児島の新たなランドマークはどうあるべきかという提案性が非常に大事だと考える。</li> <li>・アーケードとして屋根をかけるという必要事項にとどまらず、まちなみ全体や人々の暮らしに今後これがきっかけとなって良好な影響を及ぼすような大きな提案を含んでいるかどうか提案の中身をわけてくる。</li> <li>・各提案は、当該地区における「造形」的な象徴性を表出することを主題としたものと、地区の中心的「場所」の象徴性を浮き彫りにしようとした提案とに大別できるが、加えて天文館地区の集客性や回遊性を高めるとともに中心的アクティビティをより顕在化することを示す提案が重要であろうと考える。</li> </ul>
4 閉会	